

## 骨・軟部肉腫の臨床成績および予後因子の調査

### 1. 研究の対象

1994 年 1 月～2022 年 3 月に当院で診療を受けられた肉腫患者の方々

### 2. 研究目的・方法

骨軟部腫瘍の生命予後は改善が図られ、骨肉腫の 5 年生存率は 70～80%に達しています。一方で、治療後の機能評価に関しては、十分にされていないのが現状です。骨軟部腫瘍は運動器に発生する腫瘍であり、手術などの治療方法によって、予後だけでなく機能も大きく左右されます。そこで、多施設の骨軟部腫瘍治療後の症例を対象に、治療後の予後と患肢機能を評価し、予後ならびに患肢機能に影響を与える因子を検討することを本研究の目的とします。

本研究は大阪大学整形外科の骨・軟部腫瘍チーム関連施設で収集された診療情報を元に行う多施設共同研究です。各施設の研究代表者は、収集された情報の管理・匿名化などの作業を行います。データの解析は組織垂型ごとに行うため、各医療機関で分担します。

研究実施予定期間は倫理審査委員会承認日から 2024 年 12 月です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、画像、血液検査所見、病理所見 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

[研究組織名] 大阪大学整形外科 骨・軟部腫瘍チーム

[代表施設] 大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学（整形外科）

研究代表者 吉川秀樹 大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学（整形外科） 教授

研究分担者 濱田健一郎 大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学（整形外科） 助教

[共同研究機関]（研究代表（責任）者氏名）

大阪国際がんセンター（中 紀文 整形外科 主任部長）

国立病院機構 大阪医療センター（角永茂樹 整形外科）

ベルランド病院（倉都滋之 副院長）

[当施設における研究者などの氏名]

研究代表（責任）者 整形外科 主任部長 中 紀文  
研究協力者 整形外科 副部長 田宮 大也  
整形外科 医 長 田中 太晶  
整形外科 医 長 若松 透  
整形外科 医 長 伊村 慶紀  
リハビリテーション科 理学療法士 加藤 祐司  
リハビリテーション科 理学療法士 池田 聖児

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 整形外科 中 紀文（研究代表（責任者））

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181